

バリアフリー優秀大賞一覧（2005 年度）

バリアフリー推進ネットワーク

バリアフリー推進ネットワーク（正式名：交通バリアフリー推進支援連絡協議会―事務局：交通エコロジー・モビリティ財団―）では、去る 10 月 14 日に幹事会を開催し、以下の通り本年度のバリアフリー優秀大賞を選定しました。

	受賞者(団体、組織等)	主な受賞理由
1	つくばエクスプレス線 （首都圏新都市鉄道株式会社／独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構）	【先進性・新規性の評価】 - 各駅の仕様の共通化などを通じて、利用者に分かりやすい空間を提供している。また、可動柵による安全性の確保は利用者の安心感を高めるものである。 【継続性・連携性の評価】 - 他の新線開通の事例もあるが、首都圏の新たな路線として、今後も、施設見学者への積極的な対応など、バリアフリー化された鉄道の見本としてさらなる取り組みの充実に期待したい。
2	フェリーきょうと2／ フェリーふくおか2 （株式会社名門大洋フェリー／独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構）	【先進性・新規性の評価】 - バリアフリー旅客船のさきがけとなる整備を行った。また、ハード面の整備にとどまらず、人的対応を重視し、乗組員教育を通じて利用者への積極的な対応を行っている。 【継続性・連携性の評価】 - 利用者アンケートの結果をバリアフリー整備に反映させるなど積極的な対応を行っている。
3	ほのぼの安心マップ （ほのぼの広島会）	【先進性・新規性の評価】 - バリアフリーマップ作成の取り組みは全国的にも実施されているが、ボランティア団体による自主的な取り組みとして、繁華街のトイレをはじめとする詳細な情報の提供を行っている。 【継続性・連携性の評価】 - 修学旅行生との市内バリアフリー点検や車いす参加者を募ってのツアー実施などに取り組んでいる。
4	駅ボランティア事業 （横浜市交通局）	【先進性・新規性の評価】 - 鉄道事業者としていち早く独自のボランティア事業の取り組みを開始した。また、夏休みなどの長期休暇期間中に常駐型のボランティアに取り組むなど、幅広い市民を取り込む努力をしている。 【継続性・連携性の評価】 - 子供に対するボランティア教育などが近年ようやく注目されているところだが、若年層の参加も可能な駅ボランティア事業は、ボランティアの入り口教育の実践の役割も持つものとして、将来につながる点で期待できる。
5	子育て応援タクシー事業 （NPO 法人わははネット／有限会社花園タクシー）	【先進性・新規性の評価】 - 従来の枠組みにとらわれない、タクシーにおける新たなビジネスモデルの積極的展開が見られる。ニーズがあったのにこれまで十分に対応されていなかった子育て支援に着目した点で、今日的な視点を持った活動と言える。 【継続性・連携性の評価】 - NPO法人からの提案に柔軟に対応し、将来的なサービスの展開を企図している点、及び同業種へのプラスの波及効果が期待される。